

山梨県育成ミニコショウランの 販売促進に向けて

「ふじ紫」、「優凧」は山梨県が育成したミニコショウランです。「ふじ紫」は昨年、「優凧」は本年初めて出荷を迎えたことから、生産者および県関係機関と連携し、県内外で販売PRを行っています。「ふじ紫」は「富士山の雪の白さに鮮やかな紫色の光が差し込んで」というイメージで名付けられた品種で、花にさわやかな香りを持つという特徴があります。「優凧」は明るい赤紫色の小さな花を次々に咲かせ、長く楽しむことができる品種です。

本年6月には、北杜市にある県立フラワーセンターにおいて「優凧」の先行販売を行いました。7月には東京都世田谷区の園芸店において「山梨の花フェア」を開催し、両品種の首都圏でプロモーションを行いました。コショウランというと高級な贈答品というイメージがありますが、手のひらサイズのミニコショウランは、サイズ、価格とも手ごろなことから、ホームユース向けとして、または県オリジナルのお土産品としての需要が見込まれます。



東京都内園芸店でのプロモーションの様子

今後はプロモーション活動を通じて実施したアンケート調査等の結果をもとに、さらに魅力ある商品づくりや販路開拓に向けた取り組みを支援していきます。



ふじ紫 (ふじゆかり)



優凧 (ゆうなぎ)

専門学校 山梨県立 農業大学校



来年度
入学生を
募集します!

21世紀の農業・農村社会を担うにふさわしい実践力と優れた経営感覚を備えた農業経営者の育成を目指す山梨県立農業大学校では、来年度の入学生を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

養成科	専攻科	出願期間	試験期日	合格発表日
推薦入試	—	平成25年 9月24日(火) ~10月7日(月)	10月24日(木)	11月 6日(水)
前期入試	前期入試	平成25年 11月11日(月) ~11月22日(金)	12月10日(火)	12月24日(火)
後期入試	後期入試	平成26年 2月3日(月) ~2月17日(月)	2月25日(火)	3月 7日(金)



土壌実験授業風景



大型特殊資格試験



育てる・収穫するだけでなく販売実習も行います!!



環境にやさしい農業への理解と関心を高め、有機の郷づくりの実現に向け、11月18日(月)午後1時から、甲府市湯村・甲府富士屋ホテルにおいて、第2回やまなし発有機の郷推進交流大会「有機農業の推進について語る会」を開催します。

当日は「奇跡のリンゴ」の主人公として有名な、青森県で自然栽培によるリンゴ栽培を実践している木村秋則さん。北海道でマイペース酪農を実践している三友盛行さんの両名からの講演。ブレイクタイムとしてジャズピアニストの佐藤允彦さんのピアノ演奏を予定しております。

また、分科会として、全国の有機農業を実践されている方や研究者の方をアドバイザーとして迎え、アドバイザーとの意見交換を通じながら、有機農業などについて、参加者の皆様と一緒に考えていきます。

参加を希望される方は、事前申し込みが必要となります。申し込みの方法や、大会の詳細内容については、県農業技術課、電話055-223-1618までお願いします。



山梨県普及センターだより

Yamanashi Agricultural Extension Service Information

■編集/発行 山梨県総合農業技術センター ■住所 甲斐市下今井1100 〒400-0105
■Tel.0551-28-2496 ■Fax.0551-28-4909
■URL.http://www.pref.yamanashi.jp/sounou-gjt/
■E-mail.sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

No.22
平成25年9月20日発行



果樹技術 普及センター

ブドウ「サニードルチェ」の普及に 向けた取り組み

山梨県が育成したブドウの新品種「サニードルチェ」は、外観と食味が優れる赤色系ブドウです。

平成21年度から苗木の供給が始まり、これまでに4,000本以上の苗が現地に植え付けられ、平成23年から初結実しています。

果樹技術普及センターでは、「サニードルチェ」の普及に向け、県内6カ所に現地実証ほを設置し、調査・研究を行ない、「栽培管理マニュアル」の作成を行なっています。

昨年度は整枝剪定技術について「栽培管理マニュアル」の見直しを行ない、今年度は、房の整形など生産技術について、調査・研究し、栽培技術の確立を図っています。

現地実証ほでは、技術実証以外に、果樹試験場の研究員を講師に招いて、営農指導員と果樹担当普及員合同の栽培検討会を開催し、技術の統一を図るとともに、栽培者向けの講習会を開催しています。今年度の成果をもとに、栽培管理マニュアルを見直し、次年度からの栽培に十分活用する中で、「サニードルチェ」の普及、定着を図っていきます。



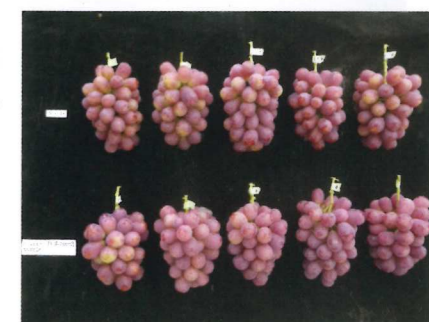
「サニードルチェ」の収穫時の状況



剪定検討会の開催 (平成25年1月)



摘粒検討会の開催 (平成25年6月)



実証ほの果実調査

作り方の 資料あります

農作物の獣害対策は省力低コストの 獣堀くんライトで

県内ではイノシシ、シカ、サル、ハクビシン等様々な獣が農作物に被害をもたらします。そこで他種類の獣の食害に対応できる手軽な柵「獣堀くんライト」を紹介します。

この柵は従来型の「獣堀くん」に比べ費用を80パーセント削減し、設置労力も半減。トンネル栽培に使用するダンポールを支柱とし、針金を約二十センチメートル間隔で計九本張ります。これに防鳥ネットを張り足せばできあがりという非常に単純な構造です。

肝心の効果については99パーセント以上と実用

上十分です。設置試験では柵の内側、外側に自動撮影カメラを設置したところ、柵の外ではイノシシ、シカ、サル等十種類の獣が千八百八回撮影されたのに対し、柵の中ではイノシシ、シカ、タヌキが計五回撮影されたただけでした。この結果は二年以上継続して得られたものですから、慣れにより効果が低下する心配もありません。「獣堀くんライト」をキーワードにインターネットで検索すれば写真入りの資料が手に入りますし、技術普及センターや地域普及センターに電話で問い合わせることも可能です。ぜひお試しください。



総合農業技術センター